



在華僑人ニ關スル調査

一九一〇

REEL No. A-0503

0503

アジア歴史資料センター

一、在華僑人數

我方最近ノ統計ニ據レバ、在華僑人數ハ總算十一萬九千ニ達シタルガ其ノ地域別内譯左ノ通ナリ。

	僑人	華人
北支	六五〇〇〇	一五〇〇〇
中支	一八〇〇〇	一〇二〇〇
南支	一七〇〇〇	二二五〇〇
計	八四七〇〇	三三九〇〇

右ハ勿論和平地區在住ノ僑人數ニシテ抗戰地區ニ於ケルソレハ不

明ナルモ、和平地區ヨリ多クナラザルベシト見ラレ居レリ。

尙右編流計ハ我が官費ニ届出デタテノミニシテ、實數ハ更ニ多クナルベク、韓國光復軍ノ一指揮者李晚爽ハ「日本軍占領地域ニハ百十萬乃至七十萬ノ同胞在住シ居レリ。」ト述ベ（ヒョウ實報九一四）又臺灣革命同盟會執行委員會主席謝南光ハ、「日本軍占領地域内ニ敬啓スルモノ二十萬、後方（抗戰地區）ニ在ル者ノ千餘人。」ト發表シ居レリ（紹論「大光報」昭和一九一三、五）。

二、在華僑華人團體

在華洋人團體トシテハ國民黨ニ依存スルモノト、中共ニ依存スルモノトノ二種ニ分類セラレ、前者ニハ支ノ如キ各團體アリ。

名	系統	成立年次
(イ) 大韓臨時政府	金九系	一九一九
(ロ) 大韓臨時議政府	金九系、大韓臨時政府ノ最高議決機關	一九一九
(ハ) 韓國獨立黨	金九系	一九四〇
(ニ) 朝鮮民族革命黨	金元鳳系	一九四三
(ホ) 朝鮮民族解放闘争同盟	金元鳳系	
(ヘ) 韓國愛國婦人会	金九、金元鳳系	一九四三
(ト) 韓國青年會	金九、金元鳳系	一九四三
(チ) 朝鮮無政府主義者總聯盟		

(ウ) 中韓文化協會 大韓臨時政府外宣機關 一九四四  
 (ヌ) 韓國光復軍 一九四〇

後者スナハテ中共ニ依存スルモノニハ次ノ二團體ガアル。

(イ) 華北朝鮮獨立同盟 一九四一  
 (ロ) 朝鮮義勇軍華北支隊

在華露韓人ノ團體トシテハ、支部臺、臺後厦門ニ張鶴齡(邦傑)等ノ  
 等ノ「臺灣同胞抗日復土總聯盟」、上海ニ「中華露韓革命黨」、中  
 華露韓革命大同盟、廣東ニ謝雨光(春木)等ノ「臺灣民族革命總  
 同盟」、浙江省金華ニ李友邦等ノ「臺灣獨立革命黨」、臺灣總領  
 事館等が相次テ成立セルヲ、一九四〇年謝雨光、李友邦が重慶ニ於  
 テ提携シ「露韓革命同盟會」ヲ組織シ、謝ガソノ主席トナレリ。ソ

ノ後奮發明、張明、陳明、民族獨立運動青年團（香港）、劉烈光等ノ、蘭考、博、博、博、博（廣州）等ヲ聯合シ、在華僑華人團體ハハトンド同盟會一本ニトナレリ。

三 大韓臨時政府

大韓臨時政府ハ韓南獨立黨、朝鮮民族革命黨、解放同盟、無政府主義者、韓南同盟ノ四團體ヲ代表スル十四人ノ職員ヲ以テ構成セラレ、其内閣ハ獨立黨七名、民族革命黨三名、解放同盟、無政府主義同盟各一名ニシテ、主席ハ獨立黨首金九デ其他判明セザル職員各左ノ通りナリ。

内務部長 申錫熙 外交部長 趙秉昂

財務部長 趙九 軍務部長 金元鳳  
法務部長 崔南 文化部長 崔錫采  
宣傳部長 殷恒燮

右ノ中、申錫熙在華スベキハ軍務部長金元鳳ニシテソノ人氣ハ主席金九ニ次グトイハレ唐レリ。崔錫采官學校ノ出身ニシテ、一九二六年七年韓南同盟ヲ組織シ、其後シソノ團長トナリ、一九二九年上海ニ移ッテ韓南同盟同僚トシテ組織シ、次デ北京ニ進出シ、一時共産党ト提携セル、一九三〇年コレト編隊セリ。民族革命黨首領トシテ、金九ノ反對派ナリシ、一昨年來金九派トノ友好關係ヲ樹立シ、其下、韓南同盟ヲ韓南光復軍トニ編入シ、遂ニ今回入關スルニ至レル

各ノナリ。

貴高親族被刺トシテ、大韓臨時政府ニ在リタルモノガ重傷ニ在リ、  
意大王八年五月成立、本年四月ソノ第三十六號會ヲ開議セル田ナリ。  
同政府ハ未ダ何國ヨリ承認セラレテラズ、臨時政府ハ重傷ニ於ケ  
ル所ヲ承認セラレテラズ、未ダ何レノ國合議ヨリ正式ニ承認セラ  
レテラズ、臨時政府當局ハ、次ノ如ク述べ居レリ。重傷政府ハ當政  
府ヲ承認シ居ラザル爲、外交關係ハ重傷政府トノ等ニハナク、國民  
黨トノ類ニ維持セラル。國民黨ハ全朝鮮黨會主義者ヲ反日本帝國主  
義者ノ親友トシテ取扱ヒ居レリ。同黨ハ朝鮮政治界ヲ友好的ニ取扱  
フノミナラズ、臨時政府ノ運営及ビ在重慶全鮮人ノ生計ヲ維持スル

ニ必要ナル資金ヲ供給シツツアリ。韓光復軍ハ蔣元帥ノ部下ニ配  
セラレ居レリ。註(ウ)重傷軍ニ三。

註。八月頃軍事委員會ヲ遣レ、臨時政府部下ニ入ツタモノノ由。

(上海一〇一七)

臨時政府ハ米國ニ其代表部(外交委員會)ヲ置キ居リ、首席代表ハ  
在米韓博士(シングマン・リー)ナルモノナル由。外議ハ多クノ場  
合、在米韓政府トナル名詞ヲ用フルモ、重傷ニ在ル韓臨時政府  
ノ外ニカカル政府ガアルワケニハ非ズ實際ハ代表部ノコトナルベシ。

韓革命同盟會

在韓韓人ハ未ダ臨時政府ヲ組織スルダケノガナク、韓革命同盟  
會ヲ組織シ、復讐運動(支部ヘノ復讐)ノ中瀛海國トシ居ル状

況ナリ。會ノ主席ハ謝光ニシテ、會員ノ重慶地方ニ在ルモノ五百餘人ト云ハレ進レリ。會ハ昨年末重慶ニ於テ第三回代表大會ヲ開催セリ。

### 三 最近ノ動向

#### (1) 大韓臨時政府ノ承認要求

大韓臨時政府及び在文四政黨ノ中心的主張ハ、當然同政府ノ承認及び鮮人ノ對日戰動員ニ在リ。カイロ會談ハコノ主張ニ拍撃ヲ與ケタルモノト觀ラレ、本年六月二十二日同政府外交部長趙秉昂ノ名ヲ以テ米英露支(重慶)ニ對シ即時承認要求ヲ發出シ、八月二十八日在重慶四政黨ヲ聲明書ヲ發表シ同議ノ總旨ヲ呼號セリ。趙

秉昂通譯ノ要旨左ノ通りナリ。

- (一) 相嘗ノ大キキヲ待チ、充分ニ組織サレ、徹底的ニ訓練セラレ、適當ニ裝備セラレタル朝鮮獨立軍ハ、聯合前ニ取リテ應ニテ戰略的利益ヲ與フベシ。
- (二) 韓國臨時政府ハ一九一九年ノ革命ト因ツテ創設セラレ過去二十六年間繼續シテ活動セル民主主義形體ノ政府ナリ。
- (三) 臨時政府ハ全朝鮮獨立運動ノ海外ノ各種軍隊ヲ召集、指揮シ得ル第一ノ組織體ナリ。
- (四) 臨時政府ノ承認ハ、朝鮮ノ内部及び外部ニ在ル革命軍ヲ固メ以テ、戰局集團ト成スベシ。

(四) 臨時政府ノ承認ハ、朝鮮ノ獨立運動ニ對シ、防遏措置ヲ轉成セントスル日本ノ如何ナル意圖ヲモ檢先ヲ制シテ妨害スベシ。

(六) 臨時政府ハ祖國ニ入ルトモニ恒久的憲法ヲ採用シ、民主主義政府ヲ選出スルタメ、一ケ年内ニ國民代表議會ヲ召集スベシ。

(七) 今日承認スルコトハ、單ニ一時的ナ政略的性質ヲ持ツモノニ過ギザルベシ。

(八) 朝鮮ハ、承認ノ後ニ於テノミ、結合シタ反侵略戰爭努力ニ急遽ニ參加スルコト可能ナリ。

(九) 正當ナル承認ノミガ、武器貸與ノ援助ヲ要求スル地位ヲ朝鮮ニ與ヘ得ルモノナリ。

(十) 朝鮮ハ重慶ニ依ツテ興ヘラレタル國民黨ノ援助ニ感謝スルモ、朝鮮ハ單ナル生活ヲ乞ヒ求メ居ルモノニ非ズ、日本ト戰フコトヲ望ミ、敵ト戰フ物資ノ獲得ヲ希望シ居ルモノナリ。

(四) 朝鮮ノ全政黨ハ今ヤ完全ニ結東シ居レリ。  
(五) 朝鮮人ハ日本ノ心理ヲ徹底的ニ理解シ、日本語ニ通曉シ、先天的ニ日本人ヲ憎惡シ得ル故、敵ヲ打倒スル主力タルニ最も適シ居レリ。

政府ノ共同聲明書ノ要旨ハ左ノ通りナリ。

一、我等全民族ハ階級、黨派、主義、信仰等ノ如何ヲ問ハズ、總テ臨時政府旗幟ノ下ニ統一團結スベキコトヲ主張ス。

二、我等ハ臨時政府領導下ニ全民族ヲ動員シ、各種反日闘争ヲ實行シ、特ニ積極的行動ノ展開ヲ要スル地方ニ在リテハ、各種勢力ヲ以テ對日武裝闘争ヲ爲スベキコトヲ主張ス。

三、我等ハ英力ニ同盟國會員タルノ地位ヲ獲得シ、今次大東亞戰爭中、韓國民族ノ負擔スベキ任務ヲ實行シ、遂ンテ戰後ニ於ケル和平機構ニ參加シ、以テ人類ノ自由ト幸福トニ貢獻スベキコトヲ主張ス。

四、我等ハ我民族各階級、各黨派ガ日本ヲ打倒シ獨立ヲ完成ス

ル爲、環顧ナル團結合作ヲ成シ、民族ノ幸福、新國家建設ノ爲、永遠ノ團結ヲ成シ、以テ各々ハ權利ノ爭奪ヲナサザルコトヲ主張ス。

(四) 國民參政會ノ承認決議

隨着臨時議院ニ對スル統一ノ反響ハ、重慶國民參政會ノ承認決議案ナリ。即チ九月十五日ノ同會本會議ハ臨時政府ノ早期承認方ヲ勸告セル決議ヲ採擇シ、同案ハタダチニ重慶政府ニ廻附セラレタリ。(ルイター重慶九一五)。

(五) 支那復讐運動

支那獨立運動ノ目標ハ祖國(支那)復讐ナリ。右ハ昨年十二月ノ



謝雨光（臺灣革命同盟會執行委員會主席）ノ談話ニ依リ明カナリ。  
本會第三代表大會ハ世界ニ向ツテ聲明ヲ發シ、ソノ革命ノ目的  
ガ祖國復讐ナルコトヲ真ネテ主張セリ。臺灣ハ中華民國領土ノ一  
部分ナリ。澎湖諸島モ臺灣ト不可分ノ關係ニ在リ。臺灣ヲシテ中  
華民國ノ完全ナル領土ノ一部タラシメ、ソノ政制ヲ中華民國政制  
ノ一部タラシムベキナリ。  
三全大會ハ臺灣省政府及ビ青年團ノ設立請求ニ關スル事項ヲ決議  
セルモ、將來ハ臺灣統治ノ政制ヲ決定シ、以テ三民主義新臺灣ヲ  
建設スベキナリ。

朝鮮人及台湾人ノ政治的處遇ニ關スル伊澤樞密顧問官口述要旨

(昭和十九年十一月二十八日)

一、根本精神

朝鮮人及台湾人ノ處遇ニ關シテハ根本ニ於テハ小磯總理ト全ク同意見テアル。併シテ乍ラ此ノ考ニ對シテハ甚ラク内地人ノ八九割迄ハ反對テアラウ。余ノ考ハ盛國ノ精神ニ悉イテ一視同仁ノ 聖旨ヲ襲モ襲モナク一筋ニ實現録スコトアル。爾シク陛下ノ赤子トシテ之ヲ遇シ此カノ差別ナキヲ期スルコトアル。之ハ余カ明治二十八年大學卒業以來今日ニ至ル迄五十年間一貫シテ考ニシテ、小磯總理ト見ル所ヲ一ニシ實ハ總理ニ深ク嚮望シテ居ル次第デアル。

然ルニ世人ノ大多數ハ口ト腹トハ全ク異リ、口ニ是道ヲ説キ内腑一徹四台一如ヲ標榜シナカラ、實ハ移殖ナル差別感ヲ抱キアングロサクソン流ノ植民政策ニ墮ンテ居リ、時ニ其ノ爲ス所ハアングロサクソン人ヨリモ甚ダシク搾取ヲ爲シテ居ル場合カアル。

朝鮮及台湾ハ植民地ニ非ズンテ帝國ノ領土デアル。之ヲ植民地視シテアングロサクソン

内務省

規格 B.5

ン流ノ種々政策ニ懸スルコトハ日韓通照、萬物蒸育ノ盛國ノ精神ニ守リ、且ハ一視同仁ノ 聖旨ニモ反スルモノト云ハネバナラズ。

ニ參政權問題

朝鮮人及台灣人ノ處遇ニ關スル根本精神ハ石ノ如クシテ其ノ政治的處遇モ此ノ考ハ方ヨリ出彼スベシテアル。從ツテ參政權ヲ撤兵制ヲ施行シ撤兵ノ義務ヲ命ジタル代價トシテ與ヘルト云フカ如キギ、ア、テイクノ考ヘ方ハ絕對ニ採ツテハナラヌ。

併シテ參政權ヲ具體的ニ如何ニスルカハ別問題ニシテ、齋ンク 陛下ノ赤子トシテ秋毫ノ差別ナキヲ期セバナラズカ、自ラ大人ト子依トノ相違カ存スル。子依ニハ子依トシテ其ノ成長ノ度ニ應ジテ處遇ノ適切ヲ期セバナラズ。即チ朝鮮人及台灣人ハ純粹ナル日本人トシテ漸時成長シテ、憲法發布ノ期ニ至ルヲ望ムレバ如ク、齋ンク立憲政ニ協賛スルノ負擔ニ堪アルニ至レルヲ以テ其ノ度ニ應ジテ參政權ヲ與スベキモノナアル。

昨年秋内外地一元化ノ措置カ斷セラレタカ、其ノ際、中ニハ種々地隨ヲ脱却スルコ

規格 11.5

内務省

トカ出來ズ、實際ハ反對ナルカ時局下ニシテ得ザル措置トシテ、之ヲ容認シテ若カ多カツタテアルガ、余ハ衷心ヨリ之ニ贊同シタ。前述ノ如ク朝鮮及台灣ハ我が領土ニシテ一日モ遠カニ第二ノ沖繩島、第三ノ九州ト爲スベキテアツテ昨秋ノ措置ハ之ニ數歩ヲ進メタモノナアル。尤モ内外地一元化ト云フテ第一階ヨリ第十階迄アリ、朝鮮及台灣ノ皇化ノ現狀ニ即シテ之ヲ實施スベク、直チニ段階ヲ飛ビ越エタリ、又ハ焦ツテ機械的ニ統一化ヲ爲スベキテナイコトハ云フ迄モナシ。參政權ノ賦與モ亦然リテアル。

參政權ヲ賦與スルニ付テハ憲法ヲ其ノ範圍行スベキナアル。間接選舉權モアルカ如キモ採ルベキナハナイ。又朝鮮及台灣ノニ付テハ權利ニ資格ヲ制限スベキナハナイ。但シ朝鮮及台灣ノ現狀ニ應ジテ、其ノ皇化ノ程度ニ即應シテ參政權ヲ賦與スルヤウ考慮スベキナアル。假ニ日本人トシテ日本精神ヲ繼承シタ福祉ニ應ジテ應ズニ之ヲ與ヘ撥後ニ完全ニ賦與スルコトヲ考慮スベキナアル。之カ爲ニ假ニ教育程度ト稱スルカ、之ニ依リ内外地一律ニ選舉資格ヲ制限スルコトヲ適當ト考ヘル。茲ニ教育程度トハ單ニ學校教育ヲ了シタトカ或ハ一定ノ社會教育乃至政治教育ヲ受ケ

規格 11.5

内務省

々等ノ贈ニ非ズシテ、眞ニ日本精神ヲ感得セルヤ否ヤヲ判定スル標準テアル。之ハ内地人ニ付テハ意味カナク悉クヲ包括スルコトハ云フ迄モナク、朝鮮人及台灣人ニ付テハ其ノ皇化ノ程度ニ應ジテ與ヘラレルコトトナル。此ノ教育程度ヲ如何ニ表スカハ立法技術的ニハ移メテ、輕シイトハ思フガ之ヲ研究シテホシイ。要スルニ純然タル日本人タルコトヲ前提トシテ差別ナク取扱フコトトシ、唯其ノ日本精神ニ徹シタル程度ニ應ジテ差政權ヲ賦與セントスルモノデアアル。之ハ一面政治的ニモ意味カアリ、一度ニ多數ノ議員カ朝鮮及台灣ヨリ選出サレルトキハ、現在ノ皇化ノ段階テハアイルランド問題ノニノ譯ヲ演ズル虞モ考ヘラレルカラテアル。教育程度ヲ以テ選舉資格ヲ制限セントスルコトハ余カ嘗テ憲法改正ノサル委員會ニ於テ主張シタコトデアアルカ、小野塚<sup>亮</sup>及一木<sup>善</sup>モ實意ヲ表シタ所テ外國ニハ其ノ立法例モアル管テアル。

三朝鮮及台灣統治ニ關スル所見

余ハ外地ニ付テハ大學卒業以來關心ヲ持シテ居リ、明治二十八年大學卒業ト共ニ領台直後ノ台灣ニ任官シ志願シタダカ道ニ其ノ志ヲ得ラレナカツタ。而シテ當時台灣

規格 B.5

内務省

ノ留學生トモ數ヶ月間<sup>後</sup>食ヲ共ニシテ、方法ヲ以テスレバ必ズ新附ノ台灣人ヲ悉ク陛下ノ赤子トシテ純乎タル日本精神ニ徹底セシメ得ルモノトノ確信ヲ得タノデアアル。大正五年寺内總督時代ニ、余ハ朝鮮ヲ觀察シタコトカアルカ、其ノ險劣メテ獨立運動者等ノ<sup>反</sup>族意識ノ強イ者ニ會フタノデアアルカ、其ノ結論トシテ左ノ如キ所見ヲ總督ニ對シテ述べタ。第一ハ善意ノ惡政カ存スルコト、第二ハ威アレド恩足ラザルコト、第三ハ行政カ煩瑣ナルコトト三點テアル。第一點ハ例ヘバ總督ハ道路ノ整備ヲ說キ交通ノ便カ<sup>内</sup>政上ニ及ボス好影響ヲ贈リ、殊ニ洪水ニ際シテ部<sup>民</sup>カ自己ノ家財ヲ省ミテ道路ノ防衛ニ努力セル美談ヲ讀ムエタガ、事實ハ部<sup>民</sup>ハ道路ノ再建ニ要スル夫役ノ負擔ノ大ナルヲ虞<sup>レ</sup>家財ヲ失フヲ望<sup>ム</sup>口<sup>を</sup>輕シトシタニ外ナラナカツタノデアアル。第二點ハ例ヘバ余ハサル汽車旅行中<sup>後</sup>禮<sup>儀</sup>ヲ盡ヘル一西洋人ニ對シテ到ル<sup>ル</sup>禮ニ於テ朝鮮人カ相慕<sup>ヒ</sup>相慕<sup>ヒ</sup>相慕<sup>ヒ</sup>センバカリノ有様ヲ目撃シタガ、之ハ引上ケノ洋人<sup>互</sup>互<sup>ニ</sup>對スル別離ヲ惜シム<sup>ル</sup>榮シイ情景デアツタ。併シ乍ラ内地人ニ付テハ金<sup>餅</sup>價<sup>レ</sup>ニ於テモ斯ク内<sup>鮮</sup>人相<sup>處</sup>ビ相和スル<sup>ル</sup>發ナク、唯見ルハ相互ニ白眼視スル有様ノミデアツタ。第三點ハ韓國時代ニ比シ内地ノ役人ハ何レモ清廉潔白ニシテ施政公平ナルカ、行政ハ

規格 B.5

内務省

煩瑣劃一的ニシテ迷惑多キヲ訴ヘタノテアル。  
 尙大正六年ニハ台湾ヲ觀察シ朝鮮ニ於ケルト同様ニ台湾人ノ眞意ヲ探ツタ。台湾人ハ朝鮮人トハ民族性ヲ異ニシ、漢民族特有ノ社會的國際的成熟ノ結果、彼ウチ容易ニ眞意ヲ語ラナイカ、其ノ洩ラス所ニ依レバ台湾ニ於ケル内地人ノ官吏ハ朝鮮トハ違ツテ微官汚吏テアルト云ヒ、事實又其ノヤウニ考ヘラレタ。又當時台湾人ノ官吏登用ノ状況ヲ見ルニ朝鮮ト異リテ一人ノ判任官モ存シナカッタ。台湾ハ朝鮮ヨリ十數年前ニ領有サレ統治ノ政ヲ施ルベキニ向ラス、事實ハ右ノ如キ有様テ、鮮台ノ統治方法ニ相違アリ、其ノ處遇ニモ著シキ差異ヲ存シテ居タ。  
 右ニ述ベタ朝鮮及台湾ノ状況ハ余ノ見ル所ヲハ今日ニ於テモ同様テアル。  
 愚フニ右ノ如キ状況テハ朝鮮人及台湾人ハ眞ニ満足シテ皇化スルコトヲ得テ望ムコトカ出來ナイ。參政權ノ賦與モ固ヨリ必要テアルカ各權ノ事實上ノ處遇ノ改善カ寧ロ第一テアル。  
 右ニモ觸レタ官吏ノ任用ノ如キ又教育上ニ於ケル差別待遇ノ如キ其ノ他各般ノ社會上、經濟上、行政上ノ差別待遇ヲ撤廢スルニ非ザレバ眞ニ民心ヲ獲得スルコトハ出

規格 B.5

務省

來ナイ。  
 四台湾統治ノ實情  
 尙世間一般ハ台湾ニ對シテハ無關心ニシテ、朝鮮ニ付テハ種々憂慮シテ居ルカ台湾ハ大丈夫ト考ヘテ居ルヤウテアル。併シテ年々學智ハ進テ台湾ハ朝鮮以上ニ民心ヲ離レテ居ル。唯朝鮮ノ如ク表面ニ表レナイノミテアル。朝鮮及台湾ノ統治ニ付テハ前述ノ如ク其ノ差異著シク、殊ニ台湾ニ於テハ領有ノ歴史古キニ拘ラス差別待遇甚ダシク(官吏ノ任用、國策會社ノ社名ノ殊川、學校ノ入學等ヲ朝鮮ニ比較スレバ明カテアル)之テ以テハ民心ヲ得ルコトカ出來ル管カナイカ、朝鮮極表面ニ表レナイノハ前述ノ如ク朝鮮人ト台湾人トノ民族性ノ差異ニ基因シ仲々其意ヲ表シ出スコトカナイ爲テアツテ、ソレカラ今一ツハ台湾ニ於テハ言論ノ自由カ極メテ抑壓セラレテ居ルカラテアル。若シ不測ノ事態アリトスレバ台湾ニ於テコソ憂慮スベク、此ノ點ヲ深ク考ヘネバナラス。  
 余カ台湾總督時代ニ今上陛下カ未ダ攝政自陛下ヲ在ラセラレタカ、台湾統治ニ關シテ御進講申上ケタコトカアル。其ノ際實ハ台湾ノ民心ハ領台當時ヨリモ悪化シテ

規格 B.5

務省

居ルト學直ニ奏上申上ケタ次第テアル。而シテ次ノ如キ挿話ヲモ申上ケタ。ソレハ  
台中中學ノ一生徒ノ學テ、同人ハ撤改呂撤下ガ台灣行啓ノ御奉迎申上ケタ者テア  
ルガ其ノ日記ニ悉ルベキ不逞ナル文字（略）ガ綴ラレタイタテアル。同人ハ幼少  
ノ頃ヨリ内地人ト交リナク教育セラレ小學校ヲ通シテ最優秀ノ成績ヲ占メ内地人ノ  
中學ニ入學シソモ於テモ模範生トシテ譽メラレテ居タ。終始模範生ト考ヘラレタ  
同人カ何カ故ニ斯クモ不逞ナ思想ヲ胸中深ク蓄シテ居タカト云フニ之ヲ推知セシメ  
ル事柄カ其ノ日記中ニ細々ト記サレテ居タ。彼ガ同中學ニ入學シ内地人ト同一ノ部  
屋ニ起臥スルヤ、或ハ内地人ト至リ同ジクシテ起臥スルヨ生意氣ナリトシテ足蹴ニ  
サレ、或ハ同時ニ入浴スルヲ拒否セラレル等種々差別的處遇ヲ受ケ私ヒ甚中凌辱ヲ  
蒙ツタノテアル。

今一ツノ挿話ハ余カ總督トシテ赴任スル際内台人融和ノ模範ト爲ス爲何カ徳ナル青  
年ヲ同行シタ。同人ハ父ハ開通シタ所ノ内地ニ於テ成長シ、小學校、中學校ノ過程  
ヲ終ヘ專修大學ヲ卒業シテ三義商學ニ勤勞シテ居タ優秀ナル青年ニシテ内地人ト比  
カモ差リカナカッタ。之ヲ判任官ニ採用シ行クハ高等官ト爲ス考テアツタ。然

内務省

規格 B.5

ルニ同人ハ半年餘リニシテ快々ト樂シマサルニ至ツタノテアルカ、其ノ眞意ヲ訊ス  
ニ次ノ如ク語ツタノテアル。彼カ一等船客トシテ内地出帆ノ第一夜ハ他ノ船客ト共  
ニ飲談ノ中ニ過シタノテアルカ翌朝、早ヲ同ジク昨夜飲談シタ一婦人ニ會フタ所其ノ  
素振リハ昨夜ニ變リ親ヘ侮蔑ノ言葉ヲモ致ケカケタノテアル。史ニ朝ノ食卓ニ就ク  
ヤ同卓ノ者ハ悉ク其ノ婦人同様相手ニナラナカッタ。之ハ道中ノ事ナル出來要ト考  
ヘタノテアルカ、總督府ニ赴任スルヤ、其ノ食堂ハ内台人ノ別アリ、同人ハ内台人  
融和ノ使命ニ隨テ交互ニ内台人席ニ着シタ所、ソレガ爲内地人ヨリハ生意氣盛サレ、  
他方台湾人ヨリハ内地人ノ過シテ者トシテ白眼視サレルニ至リ、其ノ他種族然リテ差  
別的處遇ノ甚クシキ間ニ私ヒ難キモノアルヲ語ツタノテアル。同人ハ余ノ退官後モ  
暫タハ職ニ止マリ凡ニル忍耐ヲ重ナテ其ノ使命ヲ果サントシタカ、結局堪ヘ切レズ  
退職シタ。

内務省

規格 B.5

而シテ現ニ台湾人ハ漸クノ如キ言ヲ爲シテ居ル。我ラハ眞ニ日本人ニナリ切ル爲凡  
ニル苦心ヲ致シテ居ルカ、尚且内地人ヨリハ差別待遇ヲ受ケ侮蔑ヲ蒙ル。サリトテ  
祖先ノ地編織ニ踏ラントスルモ日奸トシテ過セサル、斯クテハ地上何處ニ住ムベキ

テアラウカ。自ラハ向運命トシテ忍ブベキ事子孫ニ此ノ地上ニ任ム所ナキ歎キヲ爲  
サシムルコトカ堪ヒ得ナイト。洵ニ斯クノ如ク人生ニ希望ヲ失ヒ光明ヲ感メザル無  
事ノ新附ノ赤子アリトスレバ眞ニ深恩愛徳ニ堪ヘヌ。而シテ斯クノ如キ處遇ヲ爲シ  
テ止テ背中去ルコトアリトスルモノゾレハ彼等ノ罪ニ非ズシテ、皆内地人ノ罪。統治  
ノ責任ト云ハネバナラヌ。

五氏族ノ血ト統治

大和氏族ノ血ノ純潔ヲ説ク者カアルカ、問題ハ血ノ如何ニ存スルニ在ラズシテ統治  
ノ如何ニ存スル。現ニ我カ國ハ歴史上幾千幾萬ノ歸化人ヲ包シテ之ヲ同化シ來ツ  
タ。高麗朝鮮ニ神トシテ祀ラレテ居ル者ヌラアル。之ニ反シテ倭人ハ極一部ノ者  
ヲ除キ純粹ナル大和氏族ヲアツナリテ統治ノ方策上支那人ノ風ヲ爲サシメ支那トノ  
交渉ニ當ランメタ爲ニ倭人自ラモ支那人ト思込ニ維新後ニ内地化ヲ徹底セシムル  
ニハ努力ヲ要シタ。又近クハアメリカノ 第二世カ如何ナル觀念ヲ有シテ居ルカ  
ヲ考ヘルナラバ血ノ純潔ハ必ズシテ絶對ノ條件所テハナク統治ノ方法コソ根本テア  
ルト云ハネバナラヌ。

内務省

規格B.5

信スレバ必ズ信ゼラレル。信シテ欺カレルコトアルモ又可ナラズヤ。一視同仁日  
輪廻照ハ我カ國ノ精神ニシテ應運ノ大御心テアル。此ノ國ノ精神ヲ表裏ナク  
貫徹スルノミテアル。大御心ヲ畏メテ一筋ニ貫通スルカテアル。

六結論

之ヲ要スルニ朝鮮及台湾ニ對スル統治上ハアングロサクソン流ノ種人政策ヲ一掃  
シテ國ノ精神即チ應代列強ノ大御心ヲ其ノ徹實現セネバナラヌ。之ヲ植人地トシ  
シテ差別スベキニ非ズ。領土ノ一部トシテ選カニ内地化ヲ期シ其ノ後ハ等シク階下  
ノ赤子トシテ應運セネバナラヌ。勿論内地化ト云フテモ、一階ヨリ十階迄アリ其  
ノ日本精神ヲ繼承シテ種人ニ應シテ種人ニ其ノ向上ヲ圖ルベキテアル。  
參政権ノ歐與モ固ヨリ必要ニシテ其ノ一日モ速カサルコトヲ望ムカ之ト共ニ、寧  
ロ之ヨリ先ニ一級ノ應運改善ヲ爲サネバナラヌ。此ノ點ニ付テハ特ニ台湾ニ留意  
スベキテアル。台湾ハ一級ニハ關心カザイカ其ノ實際ハ憂慮スベキモノテアリ。  
官吏ノ任用等ハ速カニ變クテモ朝鮮並ニヤネバナラヌ。  
參政権ニ付テハ内地一級ニ對シテ應運改善ヲ進め資格トシテ應運法ヲ其ノ徹底行スベキ

内務省

規格B.5

モノト思フカ、種々問題モアルベク、調査ヲ體得スルノナラバ妙モ尙モ審政權ヲ  
賦與スルコトモ附明シテ彼等ニ光明ヲ與ヘンバナラヌ。

右ノ口述ニ關スル伊藤顧問官トノ問答要旨

一(問) 異民族ニ對シテ一體同仁ノ聖旨ヲ實現スベキハ當然ノ事ナカラ日本國ノ根  
幹ニシテ其ノ發展ノ中樞ヲ爲スハ他ク是モ大和民族ニ非ザルカ。數萬數十萬  
ノ者ヲ攝取同化スルコトハ固ヨリ易クナラカ、鮮台合セテ三千萬ヲ越エ種族  
的ニ生活力、増殖力強ク而テ短則ニ云ツテ其後進ノ民族ノ混同化ニ付テ  
ハ相當考慮ヲ要スルニ非ザルカ

(答) 二千萬、三千萬ノ民族ノ同化ヨレズルカ如キチオチオチテハ大東亞十億ノ  
民族ヲ率イ世界ヲ救済スルコトハ到底及ビモツカス。須ク氣宇ヲ廣大ニスル  
ヲ要ス。大和民族ハ元來世界中テ一番ノ混合民族ナリ。而シテ強國ノ精神ハ  
皇化ニ服スル處テノ者ヲ隨テナク攝取同化スルニ在リ

二(問) アイルランド問題ニ付官及セラレタルカ朝鮮台灣ヨリ議員ヲ選出スルト  
スレバ其ノ數ノ多寡ニ拘ラス此ノ種ノ問題ヲ惹起スルニ非ザルカ

内務省

規格 B.5

(答) アイルランド問題ハ實ハアングロサクソン人ナレバユソ起ルモノニシテ、  
彼等ハ極メテ人種的差別意識強烈ナリ、我國ノ國柄ヲ以テ強國ノ精神ノマ  
ニマニ行ハバ斯クノ如キ問題ハ起リ得サルベシ、殊ニ與ル事ニ段階ヲ以テシ眞  
ニ日本精神ヲ體得ンタル程度ニ應ジ參政ヲ認ムレバ其ノ懸念ナカルベシ。

三(問) 參政權ノ賦與ハ當然ニ總督政治ノ存否、法政ノ撤廢等ノ重要問題ニ影響ス  
ルト認メラルルカ如何

(答) 固ヨリ總督政治ヲ廢スベシ、法政ノ相 進モ撤廢スベシ、總督ハ之ヲ行政  
長官トシ之ニ照應シテ内地ニ於テモ道州制ヲ實現スベキモノナリト考フ。

四(問) 選舉法ヲ内地ノ體ニ施行スベシトノ御説ナルカ朝鮮、台灣ニ於テハ地方制  
度スラ極メテ不完全ナリ、地方制度ノ完備ヲモ俟タズンテ選舉法ノ施行ヲ論  
ズルハ實情ニ合ハサルニ非ザルカ

(答) 朝鮮、台灣ニ於テル現行ノ地方制度ハ非ナリ。此カ爲ニ内地ノ地方制度  
ニ準シテ改正スベキモノナリ

五(問) 地方制度ノ整備ハ立憲政ノ根幹ナリ。地方制度ノ完備ト公人自治ノ實效ヲ

内務省

規格 B.5



俟ツテ始メテ國政ノ參與ヲ認ムベキニ非ザルカ。沖縄縣及北海道ニ選擧法施行ノ組織ニ鑑ミルヨ要ス。

(答) 沖縄縣及北海道ニ選擧法施行ノ組織ハ余モ之ヲ知ル但シ今日ハ非常ノ秋ニシテ、非常ノ制ノ準備ニ對シテハ須ク飛躍セル措置ヲ講ズベシ。平常ノ選擧ノ手段ニ依リ取返シノツカサル學ノ生ズルヲ慎ムルノ要。

六(問) 朝鮮及台灣へ選擧ヲ施行スベキモノナレバ勿論極太ニモ施行スベキモノト認メラルルモ如何

(答) 然リ

七(問) 選擧資格ヲ所謂教育程度ニ依リ制限セントセラルルカ選擧資格ノ制限ハ客観的ナルヲ要シ行政廳ノ肆意の判断ヲ避クベキモノト考ヘラレ單ニ學校教育ノ終了、國家ノ理解トイフ程度ナラバ格別日本精神ノ感得等ノ人間心理ノ内面的判断ノ標準ヲ附テハ立法的ニ果シテ可能ナリヤ

(答) 困難ナルコトハ余モ之ヲ知ル。然レトモ若シ此ノ方針ヲ是ナリト認ムルモナラハ之カ立法化ヲ考慮スルコトハ當學者ノ實務ト云フベシ

規格 R.5

内務省

本島人の處遇改善ニ付總督府ニ於テ考慮シツアル事項

明昭和二十年ハ帝國ノ臺灣統治五十年ニ相當シ其ノ間民度ノ向上皇民意識ノ徹底洵ニ見ルベキモノアリ曁ニ昭和十八年度ヨリハ義務教育が實施セラレ明二十年ニハ又徵兵第一回ノ徵集兵ヲモ出スコトト爲レルヲ以テ總督府トシテハ此ノ機ニ於テ統治ノ全般ニ付再檢討ヲ行ヒ從來ノ制度組織等ニシテ改ムベキモノハ之ヲ改メ將來ノ躍進ノ爲ニ實施スベキモノハ速ニ實施ニ移ス方針ノ下ニ五十周年ヲ期シテ實施スベキ諸般ノ事項ヲ選定シ戦局ノ推移ニ照應逐次之が實現ヲ企圖シツアルガ右ノ中本島人ノ處遇改善ニ関スルモノ概テ左ノ如シ

一 貴族院議員中ニ外地代表ノ勅選議員ヲ出スコト  
説明省略ス

二 總督府評議會制度ノ改善

(イ) 會員ノ定員ヲ現行ノ四十名ヨリ六十名程度ニ増員シ(ロ) 官吏ノ任命會員ヲ廢止シ(ハ) 内臺會員數ヲ大体同數トシ(ニ) 地域的及職域的ニ代表セシムル如クシ(ホ) 會員ニハ相當額ノ手當ヲ給スルコトトシ(ハ) 毎年定期召集ノ制度ヲ採リ(ト) 重要政策ハ可及的ニ之ニ付議シ(チ) 諮問機關タルモ決議機關ノ如ク其ノ意見ヲ尊重運用シ(リ) 部會制度ヲ設ケテ施政各般ニ參與スル機會ヲ多カラシメントス

三 内臺差別ノ上ニ立テル諸法令ノ廢止

(イ) 匪徒刑罰令、浮浪者取締規則ノ如キ過去ノ殘滓タル法令ヲ廢止シ(ロ) 保甲制度ニ代ヘテ内臺人ヲ包括シ得ル行政ノ下部機構ヲ整備ス

四 皇民鍊成ヲ強化促進スベキ諸方策ノ實施

小親族相續法ノ適用(四)官公吏、會社銀行等ニ於ケル本島人ノ登用(ハ)國民  
學校ニ於ケル共學促進ノ基礎トナルベキ幼稚園ノ普及(ニ)國語常用家庭制  
度ノ強化(ホ)祭祀公業ノ整理ニ依ル育英財團ノ設置  
五 中央協力會議ヘノ島民代表ノ参加  
大政翼賛會中央協力會議ニ島民代表ヲ参加セシメ得ル如クニ翼賛運動ニ  
對スル内外地ノ連絡ヲ一層緊密ニス

臺灣住民ノ國政參與ニ關スル意見

一 貴族院

- (一) 貴族院令ヲ改正シテ新ニ台灣ヨリ選出スル特別議員制ヲ設ケルコト
  - (二) 特別議員ハ台灣ニ三年以上引續キ常在シ台湾ノ開發上功勞大ナル者ノ中ヨリ台灣總督ノ推薦ニ依リ勅任ヲ仰グモノトスルコト
  - (三) 特別議員ノ定員ハ五人乃至三人トシ其ノ任期ハ七年トスルコト
  - (四) 施行ノ時期 今次通商議會ニ提案スルコト
- 註 內務省案ハ定員ニ名トスルモノ、如クモ左ノ理由ニ依リ最少限三名トセラル、極希望ス
- (1) 兎角當該議員間ニ對立的空氣ヲ醸シ易ク延テハ統治上ニモ面白カラズ影響ヲ生ズル懸念アルコト

- (四) 折角リ政治處遇ヲ與フルモノトシテハ餘リニ少數ニシテ却ツテ外地輕視ノ感ヲ與フルコト
- (五) 衆議院選出議員ヲモ令入テ議會ニ選出セラルル内台人數ノ調整上不便ナルコト

二 衆議院

- (一) 選舉區ハ州ノ區域ニ依リ廳ハ其ノ區域ヲ州ニ合セテ一選舉區トスルコト
- (二) 議員數ハ十三人トシ各選舉區ニ於テ選舉スベキ議員ノ數ハ選舉區ノ人口ニ比例セシムルコト
- (三) 選舉ノ方法ハ直接選舉トスルコト
- (四) 選舉權ハ滿一年以上直接國稅年額十圓以上又納ムルコトヲ要スルコト
- (五) 被選舉權ハ内地ト同様トスルコト



(六) 選挙手續、選挙運動及罰則ハ内地ト概テ同様トスルコト  
(七) 施行ノ時期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトシ、戦局ノ推移ヲ勘案シテ決  
定スルコト

注 (一) 内務省案ハ定員ヲ五八トスルモノ如クモ左ノ理由ニ依リ最少限  
十三人トセラルル様希望ス

(二) 定員餘リニ少数ニ過ク外地優遇ト稱スルモ却ツテ之ヲ輕視スル  
ノ印象ヲ與フルコト

(三) 議會毎ニ外地側ヨリ増員要求ノ起ルベクコト必然ニシテ煩ニ堪  
ヘザルベク一應當分ノ間安定セル定員ヲ定ムルノ要アルコト

(四) 各州一人ノ定員ニテハ選挙ニ對スル熱意ヲ失ハシメ一旦内台人  
對立ヲ醸成シテ統治上弊害ヲ醸ス虞アルコト

(一) 依テ人口比率ニヨリ台北花蓮港三人、新竹二人、台中三人、台  
南三人、高雄台東澎湖二人トスルコト

(二) 内務省案ハ納税資格ヲ直轄國稅十五圓以上ヲ納ムルモノトスル  
モノノ如クモ左ノ理由ニ依リ十圓以上トセラルル様希望ス

(三) 少数壯有識層ヲ擁護スルノ要アルコト  
(四) 應テ資格引下ノ問題起ルベク當分ノ間一應安定セル資格要件ヲ  
定ムルノ要アルコト

選挙区	有権者数		定員	一人當平均得票	内地人當選可能数	定員	一人當平均得票	内地人當選可能数
	内地人	本島人						
龍運北	一、二、三	四、五、六	三	一九〇八	一	二	二八五八	〇
新 竹	一、五、九	二、五、四、八	二	一、三、五、八	〇	一	二、〇、〇、〇	〇
台 中	三、〇、三、八	三、八、七、四、七、七	三	一、三、九、三、四	〇	二	二、〇、八、六	〇
台 南	五、六、九	四、八、三、三	三	一、八、〇、〇	〇	二	二、七、〇、六	〇
高 雄 台 東 湖 南	六、四、五、四	三、三、〇、〇	二	一、九、三、七	〇	二	一、九、三、七	〇
計	三、三、一、四	八、五、七、四、八	一、三	一、六、八、八	一	九	二、四、〇、〇	〇

税額十五円以上トシタル場合ノ當選内台人別豫想

選挙区	有権者数		定員	一人當平均得票	内地人當選可能数	定員	一人當平均得票	内地人當選可能数
	内地人	本島人						
龍運北	二、〇、九、五、三	五、六、四、三	三	二、五、七、九	一	二	三、八、六、七	〇
新 竹	二、〇、二	三、四、八、一	二	一、八、五、三	〇	一	三、〇、六、三	〇
台 中	四、九、四	五、四、六、九	三	一、九、六、五	〇	二	二、九、四、八	〇
台 南	七、三、五、九	六、三、五、五	三	二、三、七、四	〇	二	三、五、五、七	〇
高 雄 台 東 湖 南	九、二、〇、八	四、九、九、一	二	二、九、五、四	〇	二	二、九、五、四	〇
計	四、三、九、六	二、九、九、八	一、三	二、三、三、九	一	九	三、三、四、一	〇

税額十五円以上トシタル場合ノ當選内台人別豫想

州廳別總人口ニ對スル二十五年以上ノ男子割合

州廳名	昭和十五年		昭和十九年	
	總數	%	總數	%
臺北州	一、三三〇、五六	二一・一六	一、二七二、四五六	一九・八二
新竹州	七五九、七八二	一九・〇八	八二八、五三二	一八・六九
臺中州	一、二九一、五三三	一八・三〇	一、三四五、五四	一七・七七
臺南州	一、四八三、一一一	二八・六九	一、五五六、八三六	一八・〇〇
高雄州	八三二、二一八	一九・五三	九三四、〇三四	一八・八一
臺東廳	七四九、〇一	二二・五六	八七〇、〇三	二二・五二
花蓮港廳	一、三二七、九三七	二二・三〇	一、四三三、五三四	二一・三〇
澎湖廳	六四六、二〇	一七・七九	六六八、九三	一七・四三
合計	五、七五一、〇四七	一九・四〇	六、一三四、八一	一八・六三

備考

一 本表ハ一般行政區域内(蕃地ヲ除ク)ノ人口ヲ計上ス  
 二 昭和十五年ハ國勢調査ニ依ル人口ヲ計上ス  
 三 昭和十九年ハ七月ノ臨時人口調査ニ依ルモノヲ計上ス(現役及召集中ノ軍人軍属並ニ艦船乗組員ヲ除ク)

臺灣在住内地人数

職業別

計	女	男	職業別
八〇三四	一八五	八二九	農業
六三七七	四六	二三三二	水産業
二二三八	六〇	一〇七八	鑛業
二五四三	二五八	二二八四	工業
八六〇	七三三	一三三	商業
二五五八	一四八二	一〇七六	交通業
二二〇八	一五五	一〇五三	官公吏
一五八四	四七二	一一一三	自由業
二七九一	一六三	二一三八	家事 使用人
八九九〇	一八六	七一〇四	其他 有業者
二二六	一	二二五	未入 職者
五三三八	二六八	五〇七〇	無職業
三三三六	一五〇	三二八六	計

附記

- 一 昭和十五年十月一日現在ニ依ル
- 二 官公吏中ニハ雇傭員男四八二四人、女一九一八人ヲ含ム
- 三 官公吏ノ男中ニハ現役武官（下士官以上）一、二二一人ヲ含ム





地方議會議員數及内臺人別調

州廳名	縣協會議員		市會議員		街庄協會議員		計
	定數	現員	定數	現員	定數	現員	
臺北州	四〇	二七	九二	四五	五二二	八九	六五四
新竹州	二二	一三	二八	一三	五六二	七五	六二二
臺中州	三六	二二	五五	二五	八四八	一四八	九四〇
臺南州	三六	二二	六〇	三〇	九六八	一八四	一〇六六
高雄州	三八	二一	六〇	三〇	五四三	九〇	六三〇
臺東縣	一一	八	一	一	一〇四	四二	一六六
花蓮廳	一五	一〇	二四	一五	九四	四一	一三三
澎湖廳	一〇	七	一	一	六四	一一	七四
計	二〇一	一三五	三三〇	一六三	三七〇四	六七九	四三三五

備考

一州會議員、縣協會議員、昭和十九年十二月一日現在、市會議員、街庄協  
 議員、昭和十九年四月一日現在ナリ

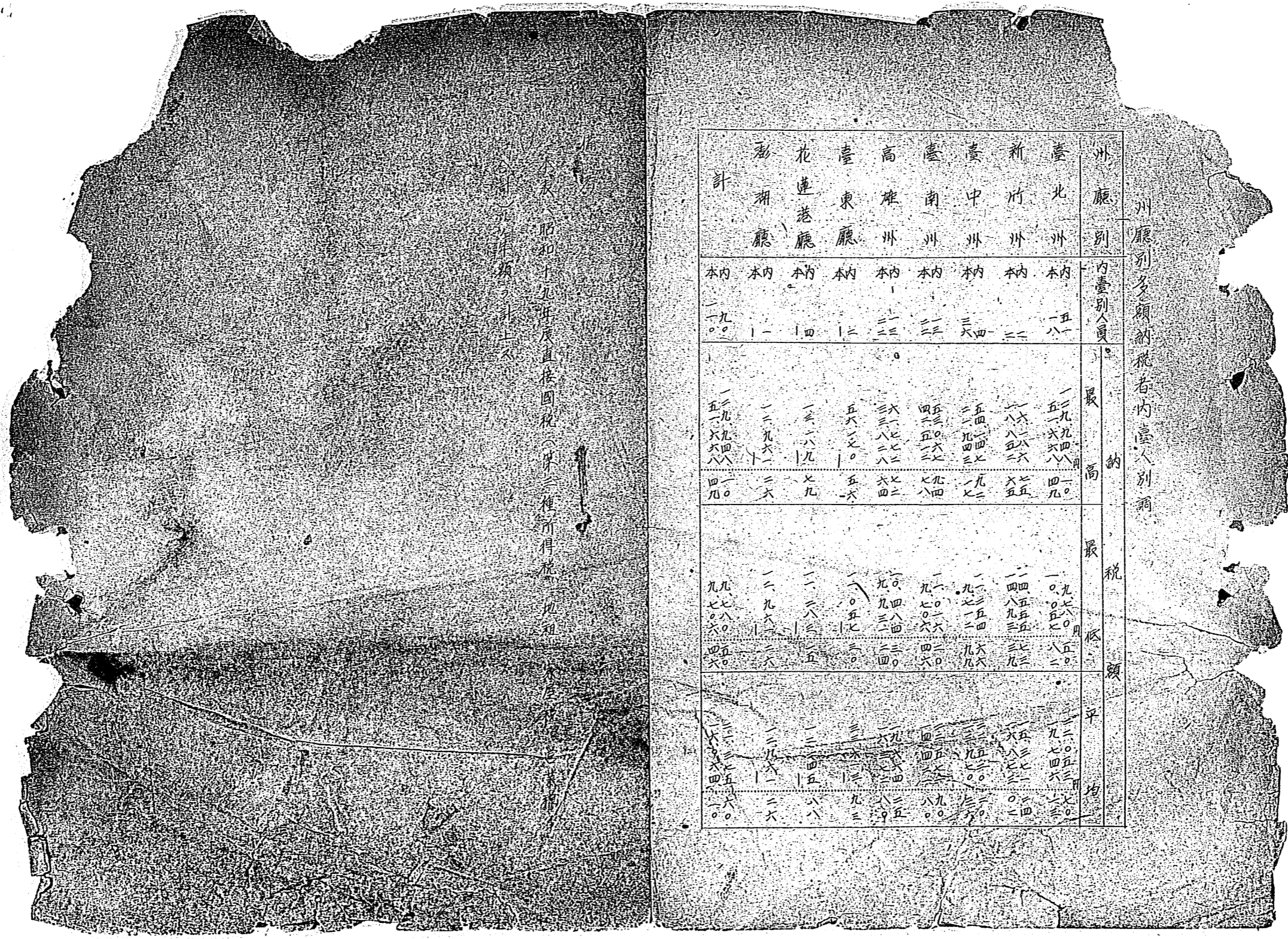
直接國稅納税額別人口調

昭和十九年度

州廳名	税額五圓以上		税額十圓以上		税額十五圓以上	
	内地人	本島人	内地人	本島人	内地人	本島人
臺北州	一九〇八	六五五〇	八四五八	一七、八三八	五〇、六九一	六八、五九一
新竹州	二、六四四	四、五七二	四、八三六	三、四六六	三、七〇六	一、五八九
臺中州	五、〇七	七、九三九	八、四三六	四、二九四	五、四六九	三、〇三八
臺南州	八、〇六	八、〇四六	九、六二二	七、三五九	八、三九五	五、八九
高雄州	八、〇二八	六、〇七三	六、八七六	四、三三〇	五、〇五九	四、八三三
臺東廳	一、七八〇	四、一九七	五、九七二	一、六三〇	三、三九四	一、二三五
花蓮港廳	三、三〇二	七、〇二六	一〇、三三八	三、二一五	五、七三一	二、三五五
澎湖廳	三、六二	五、三八三	五、六四五	三、三五	三、九三三	二、九八三
合計	四、四七八	五、五五九	四、〇四七	四、三九一	五、九七五	三、〇四一

備考

一 本表ハ直接國稅タル株三種所得稅、地租、營業稅、家屋稅ノ合計額ノ年額ヲ計上ス  
 二 本表ハ二十五年以上ノ男子ニシテ六月以上市街庄在民トナリタルモノニ付調査ス



本表昭和十九年度直接國稅（保三推所得稅）地租  
 合計の詳列を計上す

州廳別	内臺別人員	最高	最低	平均
臺北州	一五八一	一五九六四	一〇九七〇	一七四五三
新竹州	一一二	一八八五六	一四八五五	一八七三二
臺中州	三六四	五四四七	九七二	三三〇〇
臺南州	一一三	五三〇六七	九〇六	三三〇〇
高雄州	一一三	四三〇六七	四六〇	三三〇〇
臺東廳	一一	五六三〇	一〇五七	三三〇〇
花蓮港廳	一四	一一八九	一一三	一一五
澎湖廳	一	一一九六一	一一九六一	一一九六一
計	一一九〇	一五九六四	九七〇	三三〇〇

州廳別多額納稅者内臺人員別額



州廳別	内臺別人員	納		税		平均
		最高	最低	最高	最低	
臺北州	一五八	一五九,九四八	四九〇	一〇,〇五〇	八五〇	一九七,〇五三
新竹州	一一二	一八八,八五六	六五五	一四,八九五	三九三	一六八,三七三
臺中州	三六四	五四,一四七	九二	一,二五五	九六	三三,九七〇
臺南州	二二二	四三,〇六七	九八	一,〇一六	四六	二二,四七二
高雄州	二二二	三六,八七二	六四二	九,四八四	二四〇	一六,三六四
臺東廳	一一	五六,一七〇	五六	一,〇五七	三〇	三三,六一三
花蓮港廳	一四	一一,二八九	七九	一一,二八三	一五	一一,二四五
澎湖廳	一	一一,九六一	二六	一一,九六一	二六	一一,九六一
計	一九〇	一五九,六八八	四九〇	九,七八〇	四六	一六,〇六四

州廳別多額納稅者内臺人別額

本表、昭和十九年度直接國税（第三種所得税、地租、家屋税、營業税）合計の件額ヲ計上ス